



9月定例会

P2~3 村民インタビュー
～ヴィレステ開館10周年～

P6~7 令和6年度の決算審査

P9~15 一般質問 6人の議員 村政を問う

P16~17 追跡 海浜運動公園リニューアル

書道パフォーマンス



10周年～

経験者の方々



▲ひえづ出前図書館

◆出席者

石田 恭子さん（海川）
森本喜恵子さん（下口）
長谷尾美香さん（下口）
上野 秀雄さん（樽屋）

Q. ヴィレステをどのように利用されていますか

石田さん 毎週木曜日、3B体操で軽いストレッチや運動をしています。和室を使います。



長谷尾 美香さん

長谷尾さん 図書館を利用します。自分の本を借りたり、孫と一緒に



石田 恭子さん

森本さん 2週に1回ずつぐらい、図書館を利用しています。同窓会の打ち合わせもさせてもらいました。喫茶もあってよかったです。

上野さん いろいろ使っています。喫茶店を使って人と話をしたり、自分の入っているグループの打ち合わせをしたりしています。日野郡からでも、中部の方からでも交通の便がよく集まりやすいです。

Q. ヴィレステ開館10周年ですが何か印象に残っていることはありますか

上野さん それまでの中央公民館から、ヴィレステになった時に、本当に良いものができ

たと思いました。本がいっぱいになり、みんなが喜んでいました。

長谷尾さん 5周年の時のマルシェが、大々的で楽しかったです。10周年のマルシェは、行けなくて残念でした。

森本さん コロナの時、職員さんが本当に頑張られたと思います。感染しないように注意しながら、どんなふう

に活動するか考えてもらいました。

森本さん 高齢者は外に出にくいです。行けば誰かに出会えるので、来てもらえると思います。

Q. ヴィレステについて、こうしたらもっと良くなるということは

放課後に宿題したり、友達と遊んだりしています。ヴィレステに遊具があるといいな。



▲岡田陵太さん、千晶さん、琢磨さん

村民
インタビュー

～ヴィレステ開館

ヴィレステ運営協議会

上野さん

キッズ

ルーム外のデッキを使っているのですが、駐輪場にするなど工夫したらいいと思います。冬になると駐輪場が足りないのです。



上野 秀雄さん

森本さん

教育委員

会がヴィレステの中に来たので、臨機応変にいろいろ工夫して変えていけばよいと思います。

長谷尾さん

料金支

払いがヴィレステでできるようになりましたが、電子マネーでもできるとよいという声があります。

Q! 議会ひえづは読んでいただいていますか

石田さん

読んで

います。村民インタビューで写真が出ていると、知らない人もわかって良いです。

これぐらいの字の大きさがよいし、カラーが青色で読みやすいです。

上野さん

前より見

やすくなりました。写真や図面があつてわかりやすいです。名前にふり仮名がふつてあつてよいです。

あとは、何月号と書いてあると良いと思います。

Q! 村や議会に意見や要望があれば

森本さん

うなばら

荘はどうなっているか心配しています。草ぼうぼうだし、大丈夫でしょうか。

昔のように法事など

で使えるとよいです。

公園が少ないです。

身近な場所に公園があると良いと思います。



森本 喜恵子さん

石田さん

(カイン

ズ、ラ・ムーなど) 新しい店ができたが、交通事故などの心配はないでしょうか。

日曜議会だけでも

ヴィレステひえづで

やつてもらおうと行きやすいです。

Q! あらためて、ヴィレステについて一言

上野さん

交通の便

がよく、使い勝手が良いので皆さん使ってください。防音室もありますから、音楽の練習でも使えます。

夜10時まで開いているので、子どもから大人まで使えます。



▲くつろぎカフェいちご

石田さん・森本さん

いろいろな人と出会うことができます。

テーブルもあって打ち合わせがしやすいです。

水曜日には、パンの販売もあります。月曜日は飲み物が100円なのでおすすめです。

みなさん

図書館の

雰囲気はとても良いです。職員さんがとても頑張っておられるのでどんどん利用してあげてください。

ヴィレステの話以外にも、日吉津の農業のこと、最近の子どもたちの様子など、いろいろな話が聞けて、あつという間に時間が過ぎてしまいました。

ご協力ありがとうございました。

1億2,246万円 増

補正予算も可決・承認



デイサービスセンターの 改修業務委託事業に

= 指定管理者制度導入に伴い、
施設改修

4,922万円

事業の概要

デイサービスセンターについて従来の社会福祉協議会への委託を見直し、新たに村外の民間事業者へ「指定管理者制度」に基づき管理を委託する。このため、老朽化した施設（入浴施設及びトイレなど）の改修などを行う。

財源は、村夢はぐくむ村づくり基金2分の1（村長が必要と認める事業への基金繰り入れ）、及び村債2分の1。



改修工事は、村の事業として行うものか。



民間事業者へ管理を委託するもので、施設の改修は村の責任で行う。

9月 定例会

令

和7年第3回定例会を、9月1日から19日まで開催しました。

今回の議案は、令和7年度補正予算4件、令和6年度決算認定4件、条例の一部改正1件、その他の議案1件、陳情3件など、13件について慎重審議の結果、12件を可決・承認しました。

介護予防・地域ささえあい サポート拠点整備モデルに

= 「こけないからだ体操」の
普及を目指す

5,000万円



事業の概要



社会福祉センターなどをサポート拠点とし、「こけないからだ体操」の導入を行う。



①センターの改修（1階食堂、会議室、2階大会議室、交流スペースの改修）②「こけないからだ体操」を普及・開催③トレーニングマシンを整備④移動支援⑤喫茶スペースを開放し、共食の場を提供する。自治会等の協力を得て行うか。

津山市で実践されている、リストバンドをつけて6種類の体操を定期的に行う。自発的にみんなで集まって行い、研修やフォローはするが、自主性に任せる。

村の一般会計予算は

国保会計など、特別会計



令和7年度 【補正後の各会計予算】

- 一般会計 35億7,876万円
(1億2,246万円増)
- 国民健康保険事業特別会計 3億8,708万円
(107万円増)
- 後期高齢者医療特別会計 7,210万円
(2,512万円増)
- 下水道事業会計
 - ・収益的支出 1億5,421万円
(383万円増)
 - ・資本的支出 4,878万円
(110万円増)

議案 第38号

日吉津小学校における1人1台端末の整備 にかかる物品売買契約について



国が推進する「GIGAスクール構想」に基づき、日吉津村を含む県全体で、児童1人1台端末を共同調達するため「公募型プロポーザル方式による随意契約」を行う。

本村の契約額は、255台分（タブレット）で、14,257,100円。相手方：NTT西日本・NTTTCリース共同企業体。

議案 第39号

日吉津村の行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正

本村に住民登録のない人（住登外者）のマイナンバーの行政手続きが必要な場合に向けて、条例を一部改正するもの。



住登外の人の子のマイナンバーの取り扱いが必要な場合とは、どんな場合が想定されているか。



例えば、特別医療において子供だけの転入があり、保護者が村外（住登外）の場合、保護者の所得状況などを扱う必要がある。

議案第40～43号（補正予算案）に対する賛否

- ・議案第40号「令和7年度一般会計補正予算（第4回）」 全会一致で承認
- ・議案第41号「令和7年度国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第1回）」

反対討論（江田 議員）

「子ども・子育て支援金の一部を医療保険者が徴収することは目的を逸脱しており反対」

賛成多数（反対：江田）により可決

- ・議案第42号「令和7年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1回）」

反対討論（江田 議員）

「昨年度より出産育児一時金の一部が保険料に上乗せ徴収されている。今後濫用される懸念がある」

賛成多数（反対：江田）により可決

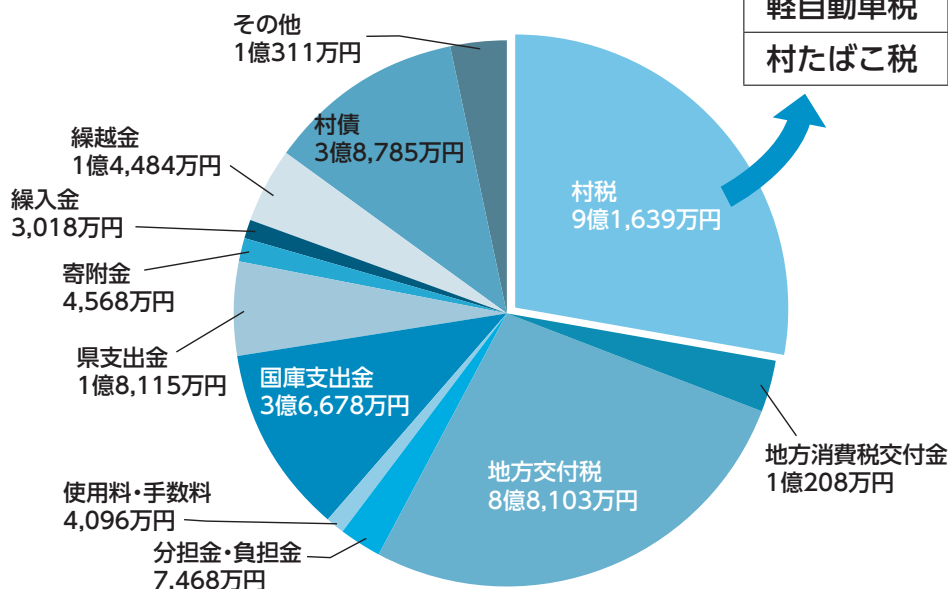
- ・議案第43号「令和7年度下水道事業会計補正予算（第1回）」 全会一致で承認



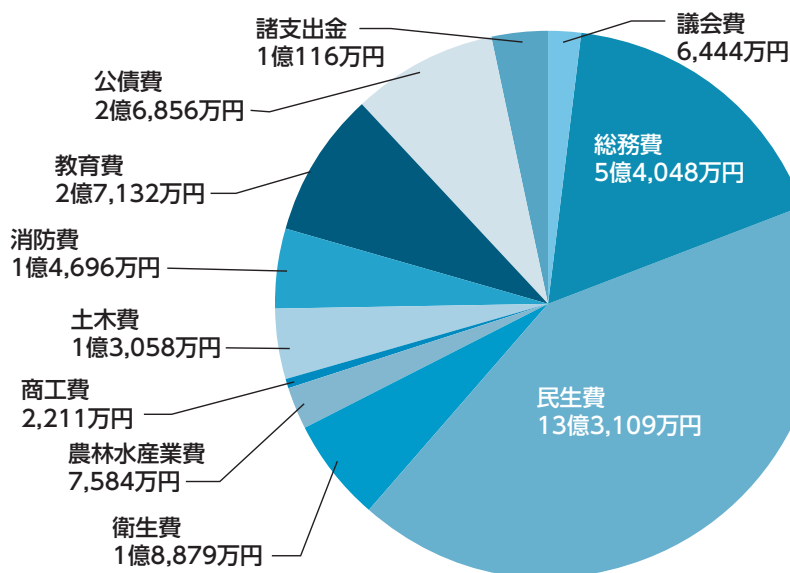
しすべて可決・認定

一般会計

【歳入合計額 32億7,473万円】



【歳出合計額 31億4,133万円】



【歳入歳出差引額 1億3,340万円】
(次年度繰り越し)

特別会計

特別会計決算		
	歳入	歳出
国民健康保険事業	3億6,085万円	3億6,068万円
後期高齢者医療	6,587万円	6,580万円

下水道事業会計		
	収入	支出
収益的収支	1億5,782万円	1億4,613万円
資本的収支	1億8,382万円	2億1,020万円

令和6年度 決算

4 会計を審査

実施された主な事業

こども園整備事業

2億5,945万円

保育室2室の増設工事。



防災行政無線機能強化事業

1億3,382万円

機器の更新。防災行政無線受信アプリの導入。



塵芥処理事業

4,317万円

可燃ごみ、不燃ごみなどの処理事業。



物価高騰対応重点支援調整給付金

3,607万円

低所得者支援と定額減税を補足する給付として、定額減税と併せて支給する。



児童手当給付事務

7,267万円

10月からは高校終了までの世帯に、児童手当を支給した。



海浜運動公園魅力化向上事業

1,398万円

海浜運動公園の魅力化のための、民間事業者サウンディング調査の実施など。



認定第1号

令和6年度一般会計歳入歳出決算の認定について

討 論

認定

反対討論

江田加代 議員

人材育成事業は予算規模が大き過ぎる。事業開始から10年経過し、立ち止まってる検証が必要。

認定第3号

令和6年度後期高齢者医療会計歳入歳出決算の認定について

認定

反対討論

江田加代 議員

「出産育児一時金」の費用の一部が保険料に上乗せ徴収されている。医療保険は健康リスクへの備えである。

決算審査特別委員会の意見
(一部要約)

審査の過程で出た意見を、令和8年度予算編成に反映するよう村執行部へ提出しました。

【総務課】

・行政経営及び地方創生マネージャーについては村の主体性を持って、委託の内容・期間等を明確にして成果を上げられたい。
・男女共同参画計画の見直しを速やかに進められたい。

・ひえづチャンネルの加入率について分析されたい。

・ふるさと納税で体験型返礼品や、旅先納税などを検討されたい。

・消防団員確保として「ちびっこ」消防団や、地域に密着した具体的な対策をされたい。

・防災士について、村防災訓練等で役割と活躍の場を設けられたい。

【教育委員会】

・人権・同和教育の推進に向けて村民意識調査の実施や啓発団体の組織強化を図られたい。

・ヴィレステ運営協議会で公民館、図書館、健康増進の3機能に対する協議の場を設けられたい。

【福祉保健課】

・児童館の高学年の受け入れはクラブや塾など、学齢に合った機能を加えられたい。

・児童館は児童に対しての責任を果たすためにも、正規職員を配置されたい。

【住民課】

・資源ごみ持ち去りを禁止する条例の設定など、対策を検討されたい。

・駐在所が村民から直接通報を受ける体制がなくなつたが、村民に対し丁寧な情報提供をされたい。

陳情3件を審査しました

□ 総務経済常任委員会 委員長報告

陳情第6号 消費税5%への引き下げとインボイス制度の廃止を求める陳情書

【陳情者】 米子民主商工会 会長 植田 均

委員長報告

不採択

(不採択3
趣旨採択2)

反対討論 齊田 光門 議員

消費税は税の根幹であり、インボイスの廃止は制度をゆるがす。

賛成討論 江田 加代 議員

中小企業のために、消費税を5%にすればインボイスは不要である。

反対

齊田、加藤、河中、長谷川
前田、石原、橋井、松田

賛成

江田

本会議結果

不採択

(賛成少数)

□ 教育民生常任委員会 委員長報告

陳情第7号 「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書採択の陳情書

【陳情者】 鳥取県教職員組合西部支部

支部長 西田 周郎

鳥取県高等学校教職員組合西部支部

支部長 先瀬 文浩

委員長報告

採択

(全会一致)

討論なし

本会議結果

採択

(全会一致)

陳情第8号 ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2026年度政府予算に係る意見書採択の陳情書

【陳情者】 鳥取県教職員組合西部支部

支部長 西田 周郎

鳥取県高等学校教職員組合西部支部

支部長 先瀬 文浩

委員長報告

採択

(全会一致)

討論なし

本会議結果

採択

(全会一致)

報告 常任委員会の閉会中調査

教育民生常任委員会 7月8日
— 介護保険の現状について —

○主な内容と考察

介護保険制度の現状がどうなのか広域連合事務局を訪ねた。介護が必要になると、所得に応じて1割から3割と自己負担が変わる。75歳以上の高齢者は増加しているが、できる限り住み慣れた地域で生活できる対応が求められる。



▲介護について語る委員

総務経済常任委員会 7月17日
— 新鮮市場の現状について —

○主な内容と考察

新鮮市場内に村のアンテナ店舗が計画されている。特産品の物販や飲食の提供ができるスペースとされるようであるが、空き店舗の活用や経営面の人事刷新等課題が多くみられた。

今後は各テナント業者との意見交換を行い検討すべきである。



▲新鮮市場の内部

一般質問

村政を問う

6人の議員が
質問しました。

議 員	質 問 事 項	ページ
さい た 齊田 てるゆき 光門	①海浜運動公園再整備は大丈夫か ②高齢者の集える環境整備を	10
まつ だ 松田 えつろう 悦郎	①ふるさと納税額の増加策は ②高規格道路計画の現状は	11
え だ 江田 かよ 加代	①介護サービスに公費支援を ②全国一斉学力テストについて	12
はし い 橋井 みつよし 満義	①旧うなばら荘の今後は ②村有地の管理状況は	13
いし はら 石原 ひろあき 浩明	①農業における地域計画の実態は ②コミュニティ・スクールについて	14
まえ た 前田 のほる 昇	①村民への情報提供・情報共有を ②総合計画の後期見直しについて	15

*一般質問とは

議員の提案や村の行政施策などについて、説明や見解を求めるものです。
9月議会では、9月3日が一般質問にあてられ、6人の議員が80分（答
弁込み）までの持ち時間で登壇しました。



齊田光門 議員

海浜運動公園再整備は大丈夫か

村長 予定通り令和8年4月供用開始

Q ①工事請負費の設計はいかに。

②仮契約と本契約の請負者が変わった理由は、
③工期は来年3月までか。

④工事完了までの日程は。

⑤村民の意見交換内容は反映させるのか。

A 村長

①工事設計はアドバイザリー業者に委託し、各施設ごとに積算をする。

②合同会社山印を代表事業者としていたが、特定建設工事共同企業体の基本契約の中で「建設事業者が代表事

業者となり構成する」と定められているため、代表事業者を(株)平井組で契約を締結した。契約業者が変わったというわけではない。

③工期は来年3月工事完了、工程表に沿って進められる。しかるべき理由があれば工期繰越延長は可能である。

④9月からキャンプ場利用を停止。各施設にて施工期間を設定、工事の進ちよく率を確認しスケジュール管理を行う。

⑤第1期工事は住民説明会での要望であるグランピング施設などプライバシー確保をする。慰霊碑の周辺に植

▲着工された第1期工事

A 村長

①4月から7月までの利用者は月

高齢者の集える環境整備を

村長 介護予防に
向けた活動支援

Q ①村デイスアービスセンターの今年4月以降の利用実績と収支は。

②居宅介護支援事業の停止状況は。

③日吉津村社会福祉センターの修繕、改修を。

樹をする。グラウンド・ゴルフなどに充分な広さの確保をする。工事図面完成時、新たに村民説明会を行う。

平均366人(前年419人)である。収支は収入1213万円、支出は1455万円で約241万円の赤字である。

②日吉津村社会福祉協議会の指定居宅介護支援事業は利用される方が減少し、運営ができなくなり令和7年4月30日付で事業者指定を廃止した。新たな事業所は村外となるが、近隣に5ヶ所ある。

③社会福祉センター、デイスアービスセンターを改修し、村民の健康づくりを推進する。また、高齢者筋力向上トレーニングルームを若年期から取り組むフィットネスジムとして改修、機材の更新をする。10月から指定管理者・日吉津村・社会福祉協議会の三者で協力し、一体的に介護予防を行う。



▲改修される福祉センター



松田悦郎 議員

ふるさと納税額の増加策は

村長 ふるさと納税返礼品を増やす



▲養殖稚アユを「夏香鮎」としてブランド化へ

Q 令和6年度のふるさと納税額は、鳥取県全体で寄付額が過去最高であったが、日吉津村は減少率が高かった。

対策と増加策を伺う。

A 村長

昨年度の要因は、県産の梨の在庫が確保できなかった。今年度は梨の確保ができる見込みである。

Q その他の取り組みは、株式会社ひえづ村づくり公社と、返礼品協力事業者で、新規の返礼品の開拓・開発を行っている。

A 村長

イチジク、さつまいも、玉ねぎの栽培や加工品の検討、養殖アユ（夏香鮎）の付

加価値を高めるブランディング化などである。

Q ふるさと納税関連の村ホームページ活用方法は、

A 総務課長

分かりやすい内容となるように検討する。

高規格道路計画の現状は

村長 早期事業化完成を目指す

Q 事業着手の前堤である計画段階の手続きや、三つの大まかなルート帯案が提示された。

A 村長

国土交通省は、計画段階評価で概略ルート案など調査を実施決定された。

道路整備の必要性や地域課題を確認し、東

側ルート、中央ルート、西側ルートの三つの帯案が了承された。

これに対し米子市、境港市、日吉津村など住民対象のアンケート調査が行われている。また、村の建設産業課窓口でも行っている。

国土交通省ではアンケート調査により概略



▲3つのルート帯案



江田加代 議員

介護サービスに公費支援を

村長 全体を見て、現場を見て判断

Q 介護保険は強制保険であり、経済的理由でサービスが利用できないということがあってはならない。利用料を年金で賄

えない部分は、村独自で支援する考えはないか。

A 村長 高齢になれば介護の支援を受ける人



▲“この笑顔”大切にしたい

が多くなる。それを40歳以上の人と公費で支えていく制度が介護保険である。介護施設の個人負担についても国とのやり取りのなかで制度化されている。不都合があるということは国に声を上げていく必要がある。村独自にやるかどうかは全体を見て、現場を見て判断したい。

らのアンケート調査で「学力向上に役立たない」と多数の教員が回答されているが、教育長の所見を問う。

A 教育長 日吉津小学校では毎年、調査を実施しており、基本的な生活習慣の見直し、学習や生活の目標づくりに反映させている。学力調査の結果から児童一人ひとりの得意、不得意を把握し、指導に活かしている。学年全体の理解の状況を把握し分かる授業に見直し、必要に応じて復習を行っている。

全国一斉学力テストについて
教育長 調査結果を指導に活かしている

Q 全国一斉学力状況調査について臨床教育学的立場か

Q 教員のなり手不足や教員の働

き方が社会問題になっているが、全国学力状況調査中止の選択肢は、改革の一助にならないか。

A 教育長 調査を中止することが教員の業務を減らすことに直結するとは限らない。小学校と連携し、教員の適正な勤務の実現に努めていきたい。

全国学力・学習調



▲未来を拓く日吉津っ子

査では、例えば国語で「二つの文章を読んで、その関係性のあるところを関連付けて答えなさい」というような、子どもたちの思考力、判断力、表現力を問う設問があり、先生方にとっても授業改善になっている。子どもたちに求められる力からはかれるテストであると感じている。



橋井満義 議員

旧うなばら荘の今後は

村長 オープンに向け後押ししたい



▲手つかず状態の「旧うなばら荘」

Q

旧うなばら荘はR・アクトホールディング(株)に譲渡された。その後何ら事業の進展が見られず、樹木は生い茂り無残な有様である。事業者の本旨に疑念を持つが、次の点を明らかにされたい。

- ①現状認識をどうとらえているか。
- ②信託受益権売買とした根拠は何か。
- ③事業者決定及び今後の法的対応は。

A

村長

- ④泉源と元職員駐車場の村有財産も同様に無償貸与されるのか。
- ①現在業者の方でオープンに向けて準備を進めている。具体的には、ボイラーや空調の修繕を進めていると聞いている。ソフト面では村づくり公社や鳥大の学生を交えて集客の新しいコンテンツに取り組み検討をしている。8月中には現地法人を設立し、地元



◀泉源の今

Q

市岡成地区や大山町槇

村有地の管理状況は
村長 今後の利活用を検討したい

- 採用も行ったと聞いている。
- ②この事業者は通常の手法として行っている。税法上のメリットがあると聞いている。
- ③事業者も一日も早くオープンしたいと言っており、後押ししたい。
- ④これら村有地については建物の契約とは別であり、土地の賃貸借契約に基づいて行った。

原地区に点在している。これらの土地の状況を把握しているのか、そして若手の職員はこれから村有財産の存在を認識されているのかどうか。

村内の土地について、過去にT氏との交換により、分散化したものも多い。これらの管理実態と、特に田園居住区内の土地価格を含めた財産としての所見を求める。

A

村長

まず大山町内の土地について、担い手育成機構を通じて耕作してもらっているが現状は確認していない。岡成地区の山林は西部森林組合にお願いしている。

村内の土地については、田園居住区を含め今後の利活用を検討していきたい。



▲どう活かす、村有地



石原浩明 議員

農業における地域計画の実態は

村長 幅広く農地の受け手を確保したい

Q

今年2月に各自治会において、「農業における地域計画(案)」の説明会が開催された。

- ① 地域計画を受けて、村の農業に対するビジョンは。
- ② 「村づくり公社」の活用は。
- ③ 農業への新規参入者への支援は。
- ④ 農地は、地域で守っていくことが大切と考えるが、その方策は。
- ⑤ 農機具修理などへの補助は。

A

村長

① 令和4年に「農業将来ビジョン」を策定し、「頑張る地域プラン」に取り組んでいる。水田に比べ、畑地が少ないという課題を解決するため、本村の土壌にあったさつまいも、イチジク、玉ねぎを推奨品目とし、生産拡大を進めたい。

また担い手農家の耕作地が飛び地状態なので、集約化の検討を行い、畦畔^{けいはん}の撤去と合わせて農作業の効率化を図っていききたい。

② 現在のところ「農業公社」のような担い手としての役割は検討していない。

③ 国または県で、様々な支援策が用意されており、村も連携して取り組んでいる。

④ 草刈りや泥上げなど地権者にも協力いただくことが必要と考える。農業・農村の有する多面的機能の重要性について、非農家の人も含め、地域全体で理解を深め、農地等の保全管理に努めていくことが重要と考える。

⑤ 農機具修理について、村の補助制度は設けていない。今後他の自治体の事例を研究していければと考えている。



▲猛暑で草刈りも大変でした



▲地域の人と一緒に 昔あそび

A

教育長

地域の皆様の学校教育活動への参加が行われ、地域と共に

Q

小学校のコミュニティ・スクールの成果と今後の展望は。

コミュニティ・スクールについて
教育長 学校運営協議会を設置した学校である

ある学校づくりが推進されている。

今後は、学校の教育活動やカルチャー土曜塾で共に活動する体制を整備し、学校も地域も元気になる村づくりを推進して、日吉津村を好きになる子どもの育成に全力で努めたい。



前田 昇 議員

村民への情報提供・情報共有を

村長 事前の情報提供、意見聴取に努める



▲子育て交流拠点には、5億8千万円がつぎ込まれる見込み（村説明会）

Q

参画と協働のむらづくりを進める上で、まず必要なのは、役場から村民への丁寧な情報提供。来年の海浜運動公園2期再整備（子育て交流施設）についての情報提供や意見聴取はいかに。

A

村長

6月に説明会を行い、以後も意見をいただいた。9月に、実施方針を作成し、民間事業者の意見もいただいて、11月に説明会。その後事業者を公募し、来年3月には事業者選

Q

定を行う。

現在工事中の1期再整備については、審査会委員から、多数の指摘がなされている。審査会終了後もアドバイスをいただくべきでは。

A

村長

委員の方へフィードバックしていきたい。来年の子育て交流施設については、説明会で様々な意見があった。11月までに決定してしまうのは、いかにもタイトで、

Q

共同参画、農業

例えば、男女要点を絞って、簡潔明瞭なものになるよう考えたもの。今後は、村民の方へもよく伝わるよう工夫する。

A

村長

村の第7次総合計画（10年間）の後半5年間の計画見直しが必要とされているが、現在の計画は、以前の計画、また周辺市町と比べても、極端に簡略化されているのはなぜか。

Q

総合計画の後期見直しについて

教育長 地方創生総合戦略と共に見直しを行う

A

村長

意見を受け止め、事前の情報提供について工夫したい。

Q

振興、障がい者支援・バリアフリーなど、計画書への記載が十分でなく、関係する村民にとっては、不足を感じられているのではと思うが、どうか。

A

村長

村民からの意識調査の結果などをもとに、現在職員で検討作業をしているところ。今後、審議会で検討いただき、来年3月議会で承認をいただきたいと考えている。

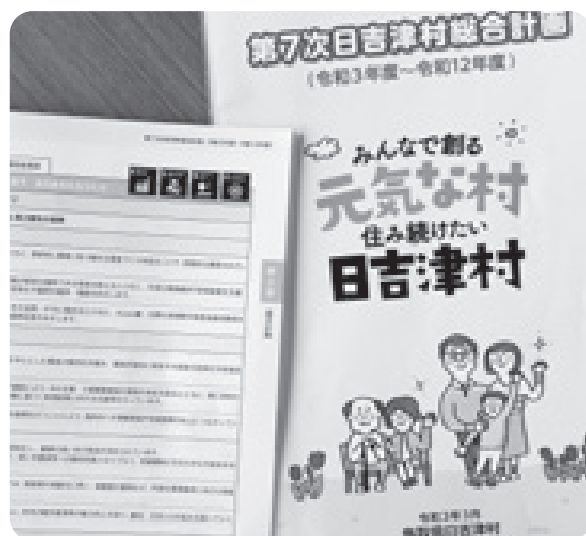
Q

村民の意見交換などを経ずに職員が検討したものは、良い内容であっても、村民の理解や協力・参画を得るには、プロセスとして不十分。少なくとも、最初に広く村民から率直に疑問や意見、提案を受ける場が必要だ。

A

村長

指摘のように、たたき台について村民の皆さんへ説明できる場を考えたい。



▲総合計画の内容は、村民との約束でもある

へリニューアル



あれからどうなった 海浜運動公園

日吉津村海浜運動公園は、海岸に広がる緑豊かな松林に、誰もが憩える場を求める村民の要望を受けて、昭和61年から整備されてきた公園です。テニスコート、ゲートボール場、多目的広場、芝生広場、キャンプ場、バンガローなどが順次整備され、平成13年に現在の姿となり、村が直営で運営してきました。しかし、近年は施設の老朽化や、利用者ニーズの変化等もあり、利用者数は、ピーク時の6割に減少しています。

再整備1期工事

海浜運動公園に再びにぎわいと活力を生み出し、村民が気楽に憩える場としていくために、リニューアル整備を計画、今年度すでに第1期工事が着手されています。

主な内容は、使われなくなったテニスコートやゲートボール場を芝生の「多目的スポーツ広場」にする、キャンプ場の一部をオートキャンプ場（6区画）にする、新たにグランピング施設（3棟）を整備する、そして管理棟を「ビジターセンター」として改修するなどです。来年3月ま

でに完成させ、今後の管理運営は、民間事業者へ任せる予定です。

来年度2期工事

令和8年度、公園の第2期工事として、現在の芝生広場に、「子育て交流拠点施設」の整備が予定されています。この計画については、6月28日に村の説明会が開催され、3つのモデルプラン案が紹介されました。

①「屋内型」 Ⅱ天候、季節を気にせず、いつでも遊べる子どものための室内遊戯施設

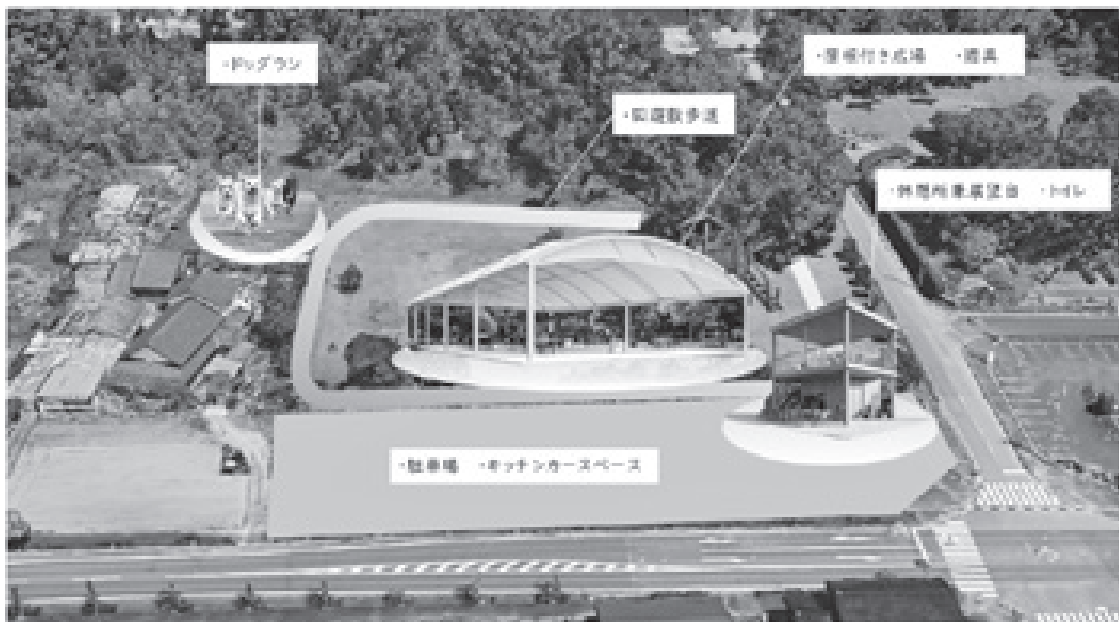
②「屋内・屋外併用型」 Ⅱ屋外に大屋根、屋内にはキッズスペース、



▲第1期工事 整備レイアウト

追跡

みんなが憩える場



▲第2期工事 整備イメージ

幅広いニーズに対応する子育て空間

③「屋外型」＝大屋根の下で遊べ、遊具を充実、全天候型屋外遊戯空間

これら3案に対し、出席者からいろいろなご意見があり、その後アンケートでも意見が寄せられました。

10月11日、説明会

令和8年度「子育て交流拠点施設」の計画について、10月11日、村の説明会が行われました。6月に示された3つのモデルプランのうち、②屋内・屋外型を基本に、屋外ドーム（屋根付き広場）・休憩所兼展望台・ドッグラン・回遊散歩道など、整備計画が示されました。（総工費5億8千万円）

11月には計画を確定し、あらためて村民へ

説明会が行われます。

そして、来年度、工事に着手される見込みです。

説明会での、出席者の意見等、一部ご紹介します。

● キャンプ場のレイアウトは詰めすぎ、区画が近すぎる

とプライバシーが保てない。

● 地元自治会へは個別説明会をするべき。

● 子ども交流拠点の維持管理費用については、計画段階で住民に示すべき。

● 指定管理等で民間が運営する場合、利益が

見込めなくなれば撤退される恐れがある。

● 噴水など、水遊びできるところがあるといい。

● インクルーシブの遊具を入れてほしい。

● 海と近いので、それを活かす場にしてほしい。



▲いよいよ1期工事スタート

議会のうごき

「ぎかい懇談会」のご案内

ぎかい懇談会を、次の通り開催します。
議会に対する疑問・要望、村政に対するご意見などをお聞かせください。
今後の議会活動に活かしていきます。

開催日時	会場
11月8日(土)午後1時30分～	日上2公民館
11月9日(日)午前10時～	日上1公民館
11月22日(土)午後7時30分～	樽屋公民館
11月23日(日)午前10時～	海川公民館
11月23日(日)午後1時30分～	日下公民館
11月29日(土)午前10時～	今吉公民館
11月30日(日)午前10時～	富吉公民館

*7会場で行いますが、お住まいの自治会に関係なく、どちらの公民館でもご参加いただけます。

西部町村議会議員研修会

とき 8月18日(月)
ところ 伯耆町 鬼の館



○演題

「鳥取県男女協働未来創造本部の取り組みについて」

▽講師

県男女協働未来創造本部長

山本 雅美氏

▽パネラー

(株)上代(源流どぶろく)

代表取締役社長

遠藤みさと氏

(株)パッチェリービー

代表取締役 益村 千代氏

若者・女性にも魅力ある、働きやすい暮らしについて話を聴きました。

自治功労者の表彰

とき 8月18日(月)
ところ 伯耆町 鬼の館

松田悦郎議員は議員在職18年にわたり、地方自治・議会活動に尽力した功績により、鳥取県西部町村議長会より表彰されました。



引き続き村政のために頑張ります。(松田)

岡山県勝田郡議会議員協議会来村

とき 8月7日(木)
ところ ヴェイレステヒえづなど

行政や議会と住民との意見交換の進め方、移住定住策、イオンなど大手企業誘致の経緯や手法などの質問を受けました。

編集後記

今年の夏は暑かった。全国的に猛暑日が続きました。11月に入り、めっきり涼しくなっています。議会ひえづは毎回、広報委員で、読みやすく、興味が持てるよう努めています。内容を表す副題を付けたり、図や写真で説明を加えています。これから村民皆様の興味をひく内容となるように取り組みます。

— 斉田 記 —

次回の定例会は12月です



表紙

書道パフオーマンス「繋ぐ」

【議会広報広聴常任委員会】

石原 浩明・斉田 光門
橋井 満義・江田 加代
前田 昇